

人 口

人口の推移と将来推計

《人口の減少と少子高齢化の進展が顕著になるものと推計される。》

【総人口の推移】

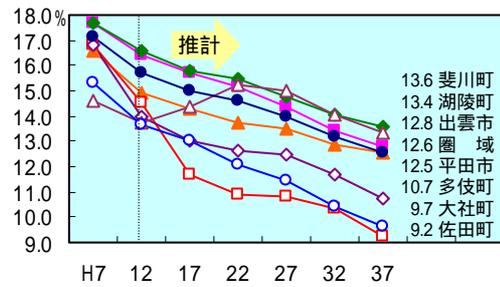
2市5町の人口は、平成17年をピークに減少、平成37年には164千人に。



注)平成17年以降は、H7年、12年の国勢調査人口に基づく推計値

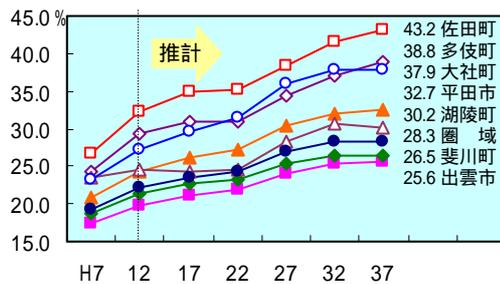
【年少人口(率)の推移】

2市5町とも少子化が進行し、年少(15歳未満)人口は、12年の約27,300人から37年には約20,600人へ減少。総人口に占める割合も15.7%から12.6%に低下。



【老年人口(率)の推移】

2市5町の65歳以上人口は、12年の約38,700人から37年には約46,400人へ増加。総人口に占める割合も22.2%から28.3%に上昇。



人口動態

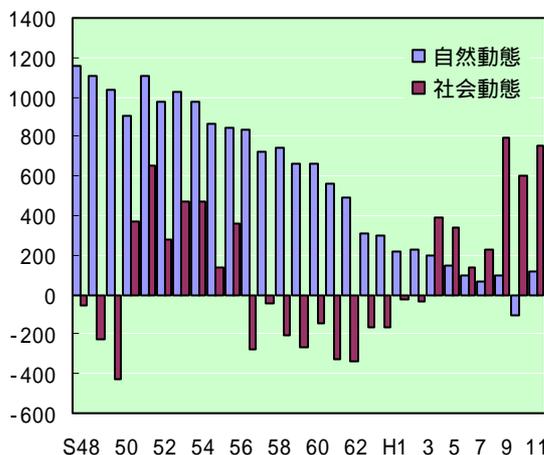
【自然動態と社会動態】

・自然動態(出生数と死亡数)は、出雲市、斐川町で出生数が上回り、その他の市町では死亡数が上回り、自然減の傾向。
 ・2市5町全体では、わずかな自然動態増の傾向、近年社会動態がかなり伸びてきている。

【2市5町間の転出入】

・出雲市、平田市から斐川町への移動が顕著。
 ・出雲市への移動は、大社町、佐田町、平田市で多くみられる。また、出雲市から湖陵町への移動もみられる。
 ・出雲地区以外の市町村から出雲地区への入超は1,057人

人口動態(昭和48年 - 平成12年)



2市5町間移動者数(転出 - 転入) H8 ~ 12年合計

